

大 学 ★問合せ先等	学部 (学群・学域)	学科－専攻 (学類)	募集人員		推 薦 条 件					1 推 薦 人 数 制 限	共 テ ス ト	選 考 方 法			2023年度入試日程			備 考			2022年度入試結果		
			入 学 定 員	推 薦 定 員	対 象 課 程	現 浪 区 分	成 績 基 準	特 定 条 件 ・ そ 他  ※奇数頁上【注】の前提条件に該 当する内容は省略	書 類 ・ 学 科 (配 点 ・ 時 間) ・ 小 論 文 (字 数 ・ 時 間) ・ 面 接 (実 施 形 態) ・ そ 他			出 願 期 間	選 考 日	合 格 発 表	合 否 判 定 評 価 法 、 共 テ (教 科 ・ 科 目) 、 新 設 、 そ の 他	志 願 者 数	合 格 者 数	競 争 率					
筑波大学 ★教育推進部入試課 Tel.(029)853-6007 〒305-8577 茨城県 つくば市天王台1-1 -1	人文・文化	<一般推薦> 人文	120	20	全	現役	△	次のいずれか。(1)4.3以上または本学の個別学力検査等に合格できる程度以上の学力を有する者、(2)希望する主専攻分野(哲学、史学、考古学・民俗学、言語学)に関連する教科・科目において優れた能力を持つ者、(3)高校において、国際的な課題をテーマとする探究的な学習や、国際交流に関する活動に取り組み、コミュニケーション能力、問題解決力等の国際的な素養を身に付けた者等	(1)(2) 2 (3) 1	×	書類審査・小論文・面接(個別)	11.1 ～ 11.8	11.29 11.30 (2日)	12.13	(注)推薦条件②の場合は、それを証明する客観的資料があれば適宜添付のこと (注)各学類の推薦条件③は要項確認。その根拠として、本人の作成による活動報告書を添付すること (注)小論文・面接における「採点・評価基準等」は要項確認	46	21	2.2					
		比較文化	80	20			△	次のいずれか。(1)(3)は人文学類と同じ、(2)比較文化主専攻に関わる分野において、特に優れた能力を持つ者	(1)(2) 2 (3) 1		書類審査・小論文(①)英文、(②)日本語)・面接(グループディスカッション)				32	21	1.5						
		日本語・日本文化	40	14			△	次のいずれか。(1)(3)は人文学類と同じ、(2)旺盛な知的好奇心や日本語・日本文化を学ぶにふさわしい明確な問題意識を持ち、専攻に関わる分野において特に優れた能力を持つ者	(1)(2) 2 (3) 1		書類審査・小論文・面接(個別)				25	14	1.8						
	社会・国際	社会	80	16		現役	△	次のいずれか。(1)(3)は人文学類と同じ、(2)社会科学(社会学、法学、政治学、経済学)に関連する分野について、明確な問題意識と優れた能力を有する者	(1)(2) 1 (3) 1		書類審査・小論文・面接(個別－口頭試問含む)				56	16	3.5						
		国際総合	80	20			△	次のいずれか。(1)(3)は人文学類と同じ、(2)国際的に活躍できる資質を有する者で、外国語または理数系に優れた能力を持つ者	(1)(2) 2 (3) 1		書類審査・小論文・面接(個別－日本語・英語による)				37	21	1.8						



大 学 ★問合せ先等	学部 (学群・学域)	学科－専攻 (学類)	募集人員		推 薦 条 件				1 推 薦 人 数 制 限	共 テ ス ト	選 考 方 法			2023年度入試日程			備 考		2022年度入試結果		
			入 学 定 員	推 薦 定 員	対 象 課 程	現 浪 区 分	成 績 基 準	特 定 条 件 ・ そ 他  ※奇数頁上[注]の前提条件に該 当する内容は省略			書 類 ・ 学 科 (配 点 ・ 時 間) ・ 小 論 文 (字 数 ・ 時 間) ・ 面 接 (実 施 形 態) ・ そ 他	出 願 期 間	選 考 日	合 格 発 表	合 否 判 定 評 価 法 、 共 テ (教 科 ・ 科 目) 、 新 設 、 そ の 他	志 願 者 数	合 格 者 数	競 争 率			
筑 波 大 学 (続)	理工	<一般推薦> 数学	40	8	全	現役	△	次のいずれか。(1)(3)は人文 学類と同じ、(2)数学におい て特に優れた能力を持つ者	(1)(2) 2 (3) 1	×	書類審査・小論文(数 学)・面接(個別)	11.1 ～ 11.8	11.29 11.30 (2日)	12.13	(注)推薦条件②の場合は、 それを証明する客観的資料 があれば適宜添付のこと (注)各学類の推薦条件③ は要項確認。その根拠と して、本人の作成による 活動報告書を添付すること (注)小論文・面接におけ る「採点・評価基準等」 は要項確認	30	8	3.8			
		物理	60	15				次のいずれか。(1)(3)は人文 学類と同じ、(2)数・理い ずれかにおいて、特に優れた 能力を持つ者	(1)(2) 2 (3) 1		書類審査・小論文(物 理)・面接(個別)					32	15	2.1			
		化学	50	13				次のいずれか。(1)(3)は人文 学類と同じ、(2)化学におい て、特に優れた能力を持つ 者	(1)(2) 2 (3) 1		書類審査・小論文(化 学)・面接(個別)					36	13	2.8			
		応用理工	120	16				次のいずれか。(1)(3)は人文 学類と同じ、(2)数または理 の能力が抜群で、かつ、希 望する主専攻分野に対して 旺盛な好奇心を持つ者	(1)(2) 2 (3) 1		書類審査・小論文(数 ・英を中心に評価)・ 面接(個別－自然現象 などについての説明や 議論含む)					36	16	2.3			
		工学システム	130	20				次のいずれか。(1)(3)は人文 学類と同じ、(2)数・理の能 力が卓越しており、論理的 な思考力とその表現力に優 れている者	(1)(2) 2 (3) 1		書類審査・小論文(数 ・理・英の基礎力に基 づく)・面接(個別)					66	20	3.3			
		社会工	120	15				次のいずれか。(1)(3)は人文 学類と同じ、(2)数・英に優 れた能力を持ち、希望主専 攻分野に関連する問題につ いて強い関心を持ち、その 分野で一定の成果を挙げた 者	(1)(2) 2 (3) 1		書類審査・小論文(現 代社会の課題や動きに 関連する設問)・面接 (個別－英語力も評価 する)					41	15	2.7			
	情報	情報科学 情報メディア創成	80 50	10 8	浪人			次のいずれか。(1)(3)は人文 学類と同じ、(2)論理的思考 力と表現力に優れ、豊かな 発想ができる者	(1)(2) 各2 (3) 各1		書類審査・小論文・面 接(個別－数学の口頭 試問含む)	37 29	10 9	3.7 3.2							
		知識情報・図書館	100	40				次のいずれか。(1)(3)は人文 学類と同じ((1)の基準は4.0 以上)、(2)知識や情報に対 して明確な問題意識を持ち、 それらに関する自主研究や 部活動、社会活動において 優れた実績を有する者	－		書類審査・小論文・面 接(グループビブリ オバトル)	64	40	1.6							

大 学 ★問合せ先等	学部 (学群・学域)	学科－専攻 (学類)	募集人員		推 薦 条 件				1 推 薦 人 数 制 限	共 テ ス ト	選 考 方 法			2023年度入試日程			備 考			2022年度入試結果		
			入 学 定 員	推 薦 定 員	対 象 課 程	現 浪 区 分	成 績 基 準	特 定 条 件 ・ そ 他  ※奇数頁上[注]の前提条件に該 当する内容は省略			書 類 ・ 学 科 (配 点 ・ 時 間) ・ 小 論 文 (字 数 ・ 時 間) ・ 面 接 (実 施 形 態) ・ そ 他	出 願 期 間	選 考 日	合 格 発 表	合 否 判 定 評 価 法 、 共 テ (教 科 ・ 科 目) 、 新 設 、 そ の 他	志 願 者 数	合 格 者 数	競 争 率				
筑 波 大 学 (続)	医	<一般推薦> 医	98	44	全	現役	△	次のいずれか。(1)(3)は人文 学類と同じ、(2)全教科がバ ランスよく優れている上に、 英および理数系特に数・理 (物・化・生のうち2科目) の能力が抜群で、医師とな る資質が十分と考えられる 者	(1)(2) 1～3 (注) (3) 1	×	書類審査・小論文(英 <読解力・作文力>・ 数・理<物・化・生か ら2科目>)・適性試験 (①筆記試験、②面接 <個別>)	11.1 ～ 11.8	11.29 11.30 (2日)	12.13	(注)推薦条件(2)の場合は、 それを証明する客観的資料 があれば適宜添付のこと (注)各学類の推薦条件(3) は要項確認。その根拠と して、本人の作成による 活動報告書を添付すること (注)小論文・適性試験・ 面接における「採点・評 価基準等」は要項確認 (注)医学類の推薦人数→ 過去3年間の推薦入試・ 個別学力検査等の入学者 数の合計が2名の場合は2 名以内、3名以上の場合 は3名以内で、該当校に 通知。通知がない高校は 1名	220	46	4.8				
		看護	70	25				次のいずれか。(1)(3)は人文 学類と同じ、(2)看護に関連 する分野について、明確な 問題意識と優れた能力を有 し、部活動、地域活動、社 会活動等(看護に関するも のである必要はない)にお いて、実績を有する者	(1)(2) 2 (3) 1		書類審査・小論文(① 和文、②英文)・面接 (個別)				57	25	2.3					
		医療科学	37	12				次のいずれか。(1)(3)は人文 学類と同じ、(2)医療科学に 関連する分野について、明 確な問題意識と優れた能力 を有し、特に数・理(物・ 化・生のうち2科目)およ び英の能力に優れている者	(1)(2) 2 (3) 1		書類審査・小論文(① 英文、②和文)・面接 (個別)				21	12	1.8					
	体育専門	240	88	×				1つの運動種目に抜群の技 能を有し、かつ、本学群に おける十分な修学力を備え、 将来体育・スポーツ・健康 の分野で活躍が期待できる 者で、次のいずれか。(1)国 際大会等に日本を代表して 選抜された者、(2)全国的な 大会等で16位以内の成績を 修めた者、(3)前記と同等程 度の水準にあると認められ る者、(4)都道府県大会優勝 等、全国大会出場に相当す る成績を修めた者	4 (注)		書類審査・実技・小論 文(設問と論述・600 字)・面接(個別) (注)実技種目は要項確 認				(注)推薦条件を証明する 客観的資料を必ず添付の こと (注)実技・小論文・面接 における「採点・評価基 準等」は要項確認 (注)推薦人数→同一実技 種目は2名以内(男子種 目と女子種目は別種目扱 い)	140	90	1.6				

大 学 ★問合せ先等	学部 (学群・学域)	学科－専攻 (学類)	募集人員		推 薦 条 件				1 推 薦 人 数 制 限	共 テ ス ト	選 考 方 法	2023年度入試日程			備 考	2022年度入試結果		
			入 学 定 員	推 薦 定 員	対 象 課 程	現 浪 区 分	成 績 基 準	特 定 条 件 ・ そ の 他  ※奇数頁上【注】の前提条件に該 当する内容は省略				出 願 期 間	選 考 日	合 格 発 表		合 否 判 定 評 価 法 ， 共 テ (教 科 ・ 科 目) ， 新 設 ， そ の 他	志 願 者 数	合 格 者 数
筑波大学 (続)	芸術専門	<一般推薦>	100	40	全	現役	△	次のいずれか。(1)人文学類に同じ、(2)志望する本学群の領域で優れた資質または能力を持つ者	4	×	書類審査・実技（主専攻ごとの実技内容は要項確認）・面接（個別）	11.1 ～ 11.8	11.29 11.30 (2日)	12.13	(注)推薦条件②の場合は、それを証明する客観的資料（作品写真等）があれば適宜添付のこと (注)実技・面接における「採点・評価基準等」は要項確認	112	40	2.8
	生命環境	<専門・総合学科特別入試> 生物資源	120	若干	農業 工業 商業 水産 総合	現役	×	特になし (注)総合学科は専門に関する教科・科目25単位以上の修得者	－		書類審査・小論文・面接							3
	医	【2022年度参考資料】 <地域推薦枠> 医	98	18	全	1浪	△	次の全条件。(1)茨城県内の高校出身者または保護者が出願期間の最終日において茨城県に1年以上居住する者、(2)将来、茨城県の地域医療に貢献する熱意と能力を有し、卒業後に茨城県が指定する医療機関等で指定された期間従事できる者、(3)4.3以上、または本学の個別学力検査等に合格できる程度以上の学力を有する者、(4)全教科がバランスよく優れている上に、英・数・理（物・化・生のうち2科目）の能力が抜群で、医師となる資質が十分と考えられる者、(5)茨城県が実施する「茨城県地域医療医師修学資金貸与制度」に応募する者（茨城県保健福祉部に照会すること）	－		書類審査・小論文（英<読解力・作文力>・数・理<物・化・生から2科目>）・適性試験（①筆記試験，②面接<個別>）	<要項確認>			(注)小論文→英・数・理に関する総合的学力を測定するとともに、論理的思考力、表現力を評価する (注)面接→医学を志向する動機、修学の継続性、適性、感性、社会適応力など総合的な人間性について評価する	69	18	3.8